

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
1	心理学	1	1	<p>〈心理学〉を学べば人の心が読めるようになると思う人もいますが、人の〈心〉そのものは目に見えず、なかなか捉えにくいものです。心理学は、〈心〉がさまざまな〈行動の仕方〉や〈反応〉として表れるのを観察、調査、実験のデータ等に基づいて科学的に分析し、人間の情報処理に関するメカニズムや反応・行動のパターンなどの法則性を見いだそうとするものです。</p> <p>本講義では、皆さんの日常生活から医療現場への応用までを視野に入れ、人間関係や患者心理の理解の基礎となる、知覚、認知、学習、記憶、適応、発達、個性差といった一般的な心理機能に関する基礎的知識を習得し、自己および他者の心理について理解を深めることを目標に講義を進めます。</p> <p>なお、医療機関等において心理師としての実務経験を有する教員が授業を担当します。タブレット端末を活用した授業を実施する。本年度は対面授業を行う。</p>
2	スポーツ・健康科学	1	1	<p>医療従事者になることへの意識づけとして、他者との情報共有や確認作業、相互理解を図るための手段であるコミュニケーション能力をチームスポーツを通して身につけることを目的とする。また、障がい者スポーツやユニバーサルスポーツを体験することにより、障害の有無や年齢に関係なく、誰でも参加できるスポーツの意義や特性を学び、理解を深める。</p> <p>本授業では、PC、タブレット端末を活用したグループディスカッション、また小テストの受験や課題提出などICTを活用した双方向授業、またプレゼンテーションによる競技紹介、グループディスカッションを通じて自己表現能力を育てる初年次教育を実施する。本年度は対面授業で実施する。</p> <p>中等教育機関において保健体育科の実務経験を有する教員が授業を行う</p>
3	レクリエーション論	1	1	<p>医療・保健・福祉の中で活用されるレクリエーションについて、概念と意義を学ぶ。対象者に合わせたレクリエーションプログラムの立案方法や運営について学ぶ。</p> <p>本学科において作業療法士の実務経験を有する教員が講義を行う。</p> <p>本年度は対面授業で行う。</p>
4	初年次教育基礎演習	1	1	<p>初年次教育の一環として、大学の学びへの円滑な移行を図り、人格的成長と学修効果を高めるために必要となるスタディスキル、チューデントスキル、アカデミックスキルを講義と演習を交えながら学修する。特に、人を助ける医療従事者としての基本である礼儀・マナー・挨拶などの社会的な心構えや他者を思いやる円滑なコミュニケーション力を重視し、教養や情報リテラシー、スキルを身につける能動的な姿勢を育む科目である。主に、アクティブラーニングを用いて、自ら学ぶ姿勢、学び方、他者交流における共感や協調、コミュニケーション技能を学修する。なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。本年度は対面授業を行う。</p>
5	運動生理学	1	1	<p>静的状態の身体機能を扱う生理学に対して、運動生理学は主に運動に対する生理反応を理解する学問である。生体における運動時の反応や運動に対する適応の機序は、生体の機能的・構造的特徴に基づき筋・神経・呼吸・循環器、栄養等を概説できるようにする。また、各疾患における運動の影響・効果に関して講義を行う。リハビリテーションの臨床において、病態理解やリハビリテーション介入戦略の理解につながる基礎的知識を修得する。大学病院での理学療法または作業療法の実務経験を有する教員が、実践的な種々の生理指標を説明しながら授業を行う。タブレット端末を活用し、Moodleを利用した双方向型授業を実施する。今年度、対面にて講義を実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
6	運動学 1	1	1	<p>理学療法・作業療法の大きな目的は、患者の活動障害の改善です。</p> <p>重力の働く地球環境下で皆さんは活動課題（寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、歩行そして日常生活活動）を達成しています。患者さんにとって、これらの活動課題が難しいのは、何故でしょうか。</p> <p>運動（活動）を関節の動き、それを作り出す筋活動や重力、そして制御する神経系も含め、ヒトの動きがどのように達成されるのかを皆さんの身体を使ったり、患者事例を紹介したりしながら説明します。</p> <p>なお、本科目は、急性期、回復期、生活期および緩和ケア病棟における理学療法の実務経験を有する教員が、臨床経験を活かし、実践的・具体的な例を示しながら授業を行います。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施します。今年度、対面にて講義を実施します。</p>
7	運動学 2	1	1	<p>理学療法・作業療法の目的は、患者の活動障害の改善である。</p> <p>1Gの地球環境下で皆さんは活動課題（寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、歩行そして日常生活活動）を達成している。患者さんにとって、これらの活動課題が難しいのは、何故なのか。</p> <p>運動（活動）を関節の動き、それを作り出す筋活動や重力、そして制御する神経系も含め、ヒトの動きがどのように達成され学習されるのかを患者事例を含めて説明する。</p> <p>なお、本大学リハビリテーション部において実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を遠隔授業で実施する。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施します。</p>
8	人間発達学	1	1	<p>ヒトの発達について学習する。</p> <p>脳性麻痺を中心とした発達障害の概念を知り、その評価および治療について説明する。</p> <p>発達に関連する小児疾患とその治療およびリハビリテーションについて説明する。</p> <p>本大学病院リハビリテーション科の診療に携わる医師の実務経験を活かし小児リハビリテーションについて授業を行う。タブレット端末等を活用し、双方向での講義を行う。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
9	病理学	1	1	<p>病理学は疾病の原因、発症の機序、病変の広がり、結果が生体に及ぼす影響等を解明、説明する学問である。</p> <p>例えば癌とは何であるのか、何故発生するのか、発生した場合に人体にどのような現象が生じるのか等を講義する。</p> <p>理学療法士、作業療法士として知っておく必要のある病態、疾患について講義を進め、最後には実際の症例を用いた演習を行い、その中で学生がプレゼンテーションを行う。</p> <p>タブレット端末による授業資料の配信やスマートフォンによるクリッカーを活用した双方向型授業を実施する。</p> <p>本大学病院における病理診断の実務経験を有する医師教員が疾病に関する豊富な経験を元にした、より実践的な授業を行う。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
10	臨床心理学	1	1	<p>人は生きていく中で様々な問題にぶつかる。すぐに解決できる問題もあれば自分だけでは思うように解決に至らない問題もある。</p> <p>臨床心理学は、そういった個々が抱える問題とどう向き合うか、問題を抱えながらどう生きていくかなど、心理的な問題の解決や改善援助を目標としている。</p> <p>この講義では、心理臨床の理論、検査、技術などを用いて ところの問題を測定、理解し、介入援助を行う方法について概説し、臨床心理学の基礎的知識の習得を目標とする。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施する。</p> <p>医療機関等において心理師としての実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
11	老年学	1	1	<p>人口の高齢化、老年学と老年医学の概念、老化と老化学説、高齢者の精神・身体機能の低下、高齢者の病態と疾患の一般的特徴、高齢者によく見られる症候、老年病、高齢者の栄養、高齢者薬物療法、老年医学的総合機能評価（CGA）、終末期医療と医療倫理について講義する。</p> <p>なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が授業を行い、療法士が臨床で必要となる知識を解説する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施し、毎回の講義において適宜理解度を確認するための確認問題をMoodleにて用いて実施し、理解度に応じた解説を行う。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
12	基礎情報処理学	1	1	<p>本講義は、情報リテラシー教育として、学修において情報通信技術（ICT）を有効に活用するための能力（情報リテラシー）が身につくよう、また、高等学校から大学教育への円滑な移行を図るための初年次教育として、レポート・論文の執筆能力、表計算ソフトによる情報分析能力、プレゼンテーション技法、オンライン環境でのコミュニケーション能力が身につくよう、講義・演習を行う。</p> <p>より具体的には、タブレット端末およびe-learningプラットフォーム（Moodle）を活用した双方向型授業により、コンピュータやネットワーク・電子メールの仕組みと利用方法、文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの使い方などについて講義し、多様な情報の収集能力・分析能力、レポート作成やプレゼンテーション資料作成など情報のアウトプットに関するデータリテラシー能力が身につくよう、あわせて演習を行う。</p> <p>本科目は、初年次教育、ICT活用、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p> <p>本年度は対面にて授業を行う。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
13	医用情報処理学	1	1	<p>現在進行中の社会変化（第4次産業革命によって導かれるSociety 5.0）は、われわれの生活のみならずリハビリテーションやヘルスケアなどの臨床領域にも及んでいる。そこで本科目は、社会や臨床で活用されている情報や模擬データを用いて、データ駆動型社会の基盤となるデータサイエンスとAIの活用について学修する。</p> <p>より具体的には、データの収集や編集を行うデータベースの活用、データベースからの情報抽出、抽出したデータの処理、および統計学的な検討方法、さらにはAI技術の根幹となる回帰、相関、機械学習の概念を学修する。また、臨床や社会で収集されたデータの誤差やばらつきについて、収集方法やデータ記録方法、個人差という視点を学び、統計学的な情報処理の意義を理解する。</p> <p>本科目はICT（タブレット端末およびe-learningプラットフォーム Moodle）を活用した双方向型授業を行う。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p> <p>本年度は対面にて授業を行う。</p>
14	社会福祉学	1	1	<p>社会福祉は、生活上なくてはならない社会制度を背景とした対人相談援助で、主に社会的弱者を対象とする。リハビリテーションとのつながりも深く、保健・医療・福祉領域では専門職の連携協働が求められる。本講義の目的は、社会福祉における概念、歴史、制度、課題および相談援助の考え方について学び、ソーシャルワーカーなど社会福祉専門職の役割を理解すること、さらに、リハビリテーション専門職としての認識を高めることである。また、相談援助技術について学ぶことにより、リハビリテーションに従事する上で必要な分析技法を身につけるための一歩となる講義内容を含んでいる。</p> <p>理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行い、一部の講義は障害者福祉施設に勤務する障害当事者および高齢者福祉施設の相談員が授業を行う。</p> <p>この講義ではICTを活用する。</p> <p>この講義では、初年度教育として提出物の期限遵守をサポートし、その成果を評価する。</p> <p>本年度は対面授業を基本とする。</p>
15	社会保障制度論	1	1	<p>将来、社会課題を解決することができる保健・医療・福祉の専門職の一員となるために、すべての国民の生活を保障するための制度である「社会保障」、および国民の生活の確保と安定を目的とした「社会保障制度」について講義する。</p> <p>授業を行うのは、本大学病院リハビリテーション部など複数の病院施設や居宅介護支援事業所や地域包括支援センターにおいて理学療法士として地域の社会福祉業務の実務経験を有する教員である。講義中の重要な単元において、理解度を確認するための確認問題と解説を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
16	基礎臨床見学実習	1	1	<p>病院（あるいは他の施設）での組織機構を知り、多種多様な専門職に接することを通して、チーム医療やリハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の役割と機能を学び、理学療法士・作業療法士としての資質を考える機会を持つ。</p> <p>藤田医科大学病院の見学、本学大学病院における理学療法士・作業療法士の臨床場面の見学、PBL、報告会を行う。</p> <p>なお、本学大学病院リハビリテーション部において理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を担当する。</p>

実務経験のある教員による授業科目：16単位

該当科目数：16科目